

第41回在京白聖会総会

日時：5月9日(土) 16時～19時
 受付開始 15時より
 場所：東京グリーンパレス (麹町日本テレビ隣/地図参照)
 会費：一般 10,000 円 (年会費 2,000 円含む)
 学生・院生 3,000 円 (同上・但し社会人を除く)



白聖の絆・彫刻小品展 (プロフィール)



舟越保武 (S6 年卒)
 戦後日本を代表する彫刻家。
 新制作協会彫刻部創立会員。
 東京藝術大学名誉教授。
 平成 11 年文化功労者選出。
 平成 14 年、多臓器不全の
 ため逝去。
 次男の舟越桂も彫刻家とし
 て活躍中。



伊藤馨一 (S52 年卒)
 舟越保武より彫刻を勧めら
 れる。東京造形大にて佐藤
 忠良に師事。
 確かな技術と作品の持つ聖
 性が認められ 2004 年岩手
 県美術選奨受賞。
 個展、グループ展など多数
 開催。

り那須光吉先生、理系よ
 り安藤厚先生、近江昭先
 生となっておりま
 す。
 世代を越え心を一つに
 し、高らかに校歌を歌う
 ことで、より強い白聖の
 絆を紡ぐことを願い、多
 くの皆さまのご参加を、
 心よりお待ちしております。
 なお、出欠は同封の葉
 書で4月24日迄にお知らせ
 頂ければ幸いです。
 (52 年卒幹事一同)

昨年、大いに盛り上がった
 40 周年記念総会の後を引継
 ぎ、幹事を務めさせて頂きま
 す昭和 52 年卒です。
 私どもは、在京白聖会の目
 的であります「会員の親睦と
 教養の向上を図る」という点
 にフォーカスし『絆を紡ぐ』
 をテーマに準備を進めており
 ます。

さて、その内容ですが、昭和
 6 年卒の彫刻家で文化功労者の
 舟越保武先輩と、その教え子で
 あり本年の幹事の一人である伊
 藤馨一君の『白聖の絆・彫刻小
 品展』を宴会場に隣接した別会
 場で催します。舟越先輩がリハ
 ビリのために書いた毛筆の手紙
 など、美術館でも見られなかつ
 たお宝も展示いたします。

そして、懇親会終盤の『お愉
 しみ抽選会』では、展示した伊
 藤君の小品を抽選で 3 名の方に
 お土産にして頂く予定です。
 懇親会の鏡開きに用います樽
 酒は、創業 1772 年の『菊の司』
 です。お口にすれば、紺屋町の
 懐かしい景観もよみがえって
 くるのではないのでしょうか。
 お招きする先生方は、文系よ

在京白聖会
 2009
 総会

5月9日(土)東京グリーンパレスで開催

在京白聖会報

第26号

平成 21 年 3 月 28 日

発行

在京白聖会
 (事務局)

〒105-0003 東京都港区

西新橋 1-17-11

リパティ 11ビル 8F

玉澤健児税理士事務所 内

TEL&FAX.03-3501-1391(直通)

<http://www.hakua-sokei.co.jp/index.htm>

※事務局は7月末に移転します。



〈お断り〉在京白聖会事務局は7月末で移転します。移転先は、分り次第、在京白聖会ホームページに掲載いたしますので、御注意下さい。

レディス会の参加者募集

「第5回在京白聖レディス会」

6月27日(土) 銀座で講演会を開催

女性同士の情報交換や親睦を目的に始まった「在京白聖レディス会」は第五回目を迎えます。

今年は、私も昭和32年卒が幹事を務めさせていただきます、楽しい集いになるようにと準備を進めていますので、お誘いあわせでご参加ください。おいしいお昼ご飯をいただきますが、学年



担当幹事の皆様

も年齢も超えて親しく交流をほかりましょう。

参加ご希望の方は、卒業年度お名前、ご住所、電話番号(電話とFAX)を、6月10日(水)までに、左記の担当幹事まで直接ご連絡をお願いいたします。お待ちしております。

なお当日のキャンセルはお許し願いますように。

■担当幹事 (昭和32年卒)

○国分智子

Tel&Fax: 0489-74-4220

○外山浩子

Tel&Fax: 03-3488-1303

■年会費：当日、会場で年会費を納付戴くことが可能です。

第5回在京白聖レディス会

テーマ：「日本の女性の現状と課題」

講師：平賀圭子さん

(昭和32年卒・もりおか女性センター理事長)

日時：6月27日(土) 12時～15時
(11時30分から受付)

場所：レストランSun mi (サンミ) 高松 本店
中央区銀座6-3-9

電話 (03) 5568-3300

会費：5,000 円



※地下鉄日比谷線・丸の内線・銀座線の銀座駅のC2出口を出て数奇屋通りを新橋方向へ徒歩3分

〈講師の平賀圭子さんのプロフィール〉

小学校教師の後東京に移り住み、豊島区の男女平等推進センター「エポック10」に勤務、続いて埼玉県男女共同参画推進センターでは事業コーディネーターにと、男女共同参画社会の実現を目指して40年のキャリアを重ねたエキスパートです。2004年からは請われてもりおか女性センター理事長に就任され現在2期目。楽しいお話ばかりではない、ご苦労話など、現場で味わった興味あるエピソードなら沢山お持ちです。



昨年の参加者

在京白聖会ゴルフ倶楽部

「第6回在京白聖会ゴルフ大会」

年次対抗戦は疾風会(S42年卒)が初優勝

昨年12月5日(金)、ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎で恒例の第6回在京白聖会ゴルフ大会が34名の参加者を得て開催されました。

結果は、年次対抗戦では42年卒が初めての優勝を飾りました。メンバーは石井充、志岐明、中村久男及び三沢一幸の皆さんでした。

個人戦では、30年卒の遠畑浩紀さんが、同じく初優勝しました。

過去の年次対抗戦の結果は、表のようになっております。



年次対抗優勝の42年卒チーム

年次対抗
過去の優勝年次

第1回 43年卒

第2回 30年卒

第3回 混成

第4回 50年卒

第5回 40年卒

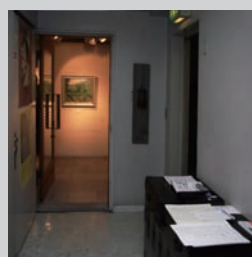


第6回大会参加者の会員のみなさん

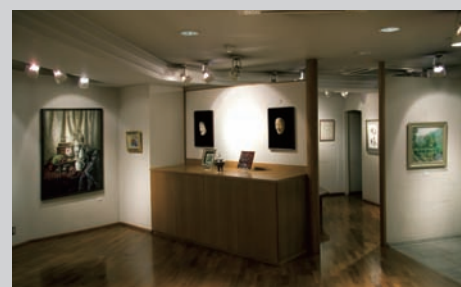
平成20年12月4日(木)～6日(土)
開催場所：銀座「アート・ロベ」

白堊芸術祭2008

〈出展リスト〉



「第1回白堊芸術祭」が昨年末、大盛況裡に開催されました。今年も同じ時期に開催の予定です。実施要領は10月発行の「在京白堊会報第27号」及び「在京白堊会ホームページ」にて発表します。多くの会員のご参加をお待ちしております。



▲山中雅彦 (S49 卒)
〈卓上の静物〉



▲山中雅彦 (S49 卒)
〈牡丹〉



▲三浦千波 (S50 卒) 〈風景〉



▲山中雅彦 (S49 卒)
〈Bisque dool〉



▲三浦千波 (S50 卒)
〈風景〉



▲三浦千波 (S50 卒) 〈風景〉



▲ 故・福田 隆先生 (S10卒)



▲ 福田 隆 (S49卒) 〈天野川〉



▲ 福田 隆 (S49卒) 〈木陰林〉



▲ 瀬野尾 徹夫 (S25卒・写真) 〈秋色〉



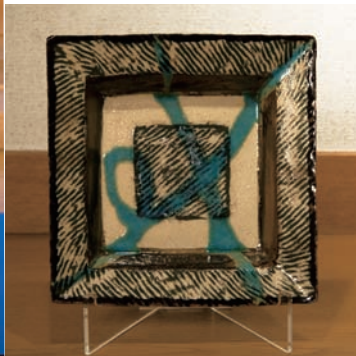
▲ 松本 雄 (S30卒)
〈セーヌ河畔〉



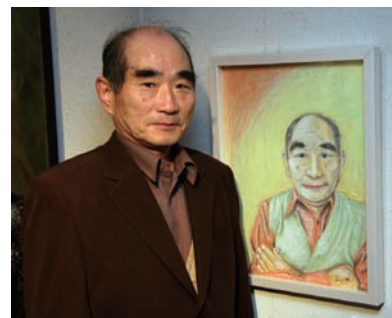
▲ 三宅 保 (S34卒)
〈夏の谷川岳・天神平〉



▲ 及川 昭伍 (S25卒) 〈縄文象嵌耳付扁壺〉〈縄文象嵌青釉四方皿〉



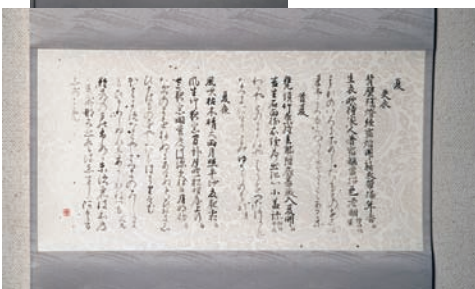
▲ 藤村 義雄 (S31卒)
〈古希の自画像〉



▶ 太田 正孝 (S25卒・香炉)
〈緞黒味銅三足香呂「まほろば」/右〉
〈一枚絞り南鐙水注/下〉



▲ 池上 敦子 (S50卒) 〈周恩來詩〉



▲ 武田 夏美 (S53卒) 〈臨 粘葉本和漢朗詠集〉





▲板倉洋子 (S28卒) 〈調和〉



▲渡部恵子 (S53卒) 〈愛の使者〉



▲雫石 亮 (S30卒) 〈孫次郎・姉〉



▶千葉祐治
(S41卒・鎌倉彫)
〈とびうお〉



▶浅沼 栄一 (号・一道 / S27卒) 〈清寂〉



▲大澤邦雄 (S43卒・写真&五行歌) 〈岩手山〉



▲伊藤公雄 (S34卒) 〈大沢温泉の夏〉



▲五行歌

小川達雄 (S22卒) 星 邦彦 (S36卒)
 稲垣裕雄 (S38卒) 馬場 信 (S41卒)
 二宮まゆみ (S42卒) 山田武秋 (S42卒)
 大澤邦雄 (S43卒) 三浦千波 (S50卒)
 佐藤法雄 (S50卒) 及川 謙 (S61卒)
 水原 滋 (S50卒 / 五行歌&写真カード)



▲阿部文弥 (S16卒・短歌)
〈小市巳世司先生〉



▲村野井徹夫 (S35卒・写真) 〈盛岡の風景〉

▶佐藤法雄(号・容齋/S50卒)〈竹心〉



三浦千江美(S53卒)〈臨 哭澄上人詩〉



▲菊池雅子(S46卒)〈幸せの予感〉



▲菊池雅子(S46卒)〈暦日〉



▶伊藤馨一(S52卒)
〈我が名を刻め〉

佐藤法雄(S50卒)
〈暢懷〉



▲玉澤健児(S43卒)
〈スイス・リギ山山頂より〉



▲及川 謙(S61卒)
〈沙州敦煌〉



▲田部井恭子(S34卒)〈波のような馬達〉



▲一戸裕子(S43卒)〈ばら〉



佐々木美枝子(S43卒)
〈宴の後〉

▶小野寺長道(S28卒)
〈前九年から〉



中世城郭探訪の集い

平成20年11月29日
菅谷館・杉山城訪問記

平成20年11月29日(土)、好天の下、東武東上線沿線の嵐山町にある二つの城跡を訪問しました。

武蔵嵐山駅に全員集合の後、まず都幾川沿いに築かれた菅谷館跡内にある埼玉県立嵐山史跡の博物館に向いました。博物館では、翌日までの予定で比企地方の城跡という特別企画が開催されており、その見学で付近一帯の歴史的地理的背景等の基礎的な知識と共に、近隣の城郭の特徴を知ることが出来ました。そこで得た知識を念頭に、菅谷館の見学を開始しました。

城跡は、河岸段丘上に水濠を



菅谷館跡を見学する参加者

巧みに設けて作られており、その規模の大きさは、源頼朝の有力武将であった畠山重忠の館というには余りにも広大なものでした。また戦国時代の技巧が要所に見られ、その時代においても使われた城であることが見てとれました。現在は公園として整備されており、畠山重忠の石像も建てられています。

園内で昼食後、旧鎌倉街道を通って、次の見学先である杉山城に向いました。この城は、鎌倉街道を見通す丘陵端に位置し、その技巧の巧みさから、城郭研究愛好者の間では、中世城郭の教科書と喧伝されています。作りは、城の裾を流れる市野川を前面の守りとして、三方の尾根を幾重もの空壕と土塁を組み合わせた堅い守りをしていました。

杉山城はまた、多くの中世城郭が敷に埋もれている中において、地主の好意によって一般に開放され、かつ草刈がこまめに行われているだけでなく、城跡に隣接する中学校生徒手作りの表示板が随所に建てられており、地元の旧跡を守ろうとする地域の人々の熱い思いが感じられました。

歴史が立ち上がってくる
中世城郭探訪の魅力
ウォーキングにも最適です。



杉山城趾にて

参加者募集

●実施日●
4月11日(土)

●行先●
祇園城・鷺城
(小山市)

祇園城…中世の豪族小山氏が思権を握ろうとした家康に与しなかつた上杉景勝の討伐に向つた家康が、石田三成の挙兵を聞いて諸大名の思惑を探った小山評定が行われた場所として有名。江戸時代初め、この故事にならって、將軍家の日光参拝の

ための宿泊所として、小山御殿がこの地に築かれている。
鷺城…祇園城と同じく、思川の河岸段丘に小山氏が築いた城で、南北朝抗争期の戦いの舞台として知られている。現在に残る城跡は、小田原北条氏の手によって、戦国時代の技巧を凝らした作りになっている。

持宝寺…小山御殿が取り壊された後、徳川將軍家の日光参拝の折に休憩所として使用された。
須賀神社…平将門の乱を平定した藤原秀郷が勧進して建てた神社で、付近一帯の総鎮守。

外城古墳…鷺城の外郭にある円墳。鷺城の外郭内にあることに由来して名づけられた。

○行 動…08:40上野駅中央改札口「翼の像」前集合↓08:54上野駅発↓10:09小山駅着↓15時頃解散(解散後、小山駅前にて有志による懇親会を開催の予定)

○服装…全コース平坦な道です、自由な服装でお出下さい。一部藪に入ります。(全行程…約9キロ)

○申込締切…4月8日(水)までに在京白聖会事務局まで御連絡下さい。

○年会費…5月9日の在京白聖会総会に参加できない方は、当日納付戴くことが可能です。

○その他…現地集合(小山駅改札口)が可能です、その場合は申込時にお知らせ下さい。



持宝寺山門

恩師・遊座昭吾先生の最終講義

平成21年4月26日(日) 九段下・ホテルグランドパレス
最終講義「北天の詩想 啄木・賢治のまなざし」開催



盛岡一高赴任当時の
遊座昭吾先生

啄木・賢治研究家で、昭和39年4月から同51年3月まで母校で教鞭をとられた遊座昭吾先生の最終講義「北天の詩想」啄木・賢治のまなざし」を4月26日(日)開講します。

「北天の詩想」は、遊座先生のオリジナリティで、啄木・賢治をこよなく愛し、国際啄木学会会長も歴任された先生の研究の集大成といえるものです。

この最終講義は、遊座先生が歴任された福岡高校、盛岡一高、二高の教え子、及び国際



2月21日、母校の白聖ホールで開催された最終講義は放送部の現役生が司会。250名以上が駆けつけた。



ホテルメトロポリタン盛岡で行われた懇親会にも80名が出席。福高、一高、二高、国際啄木学会関係者が一堂に会し懇親を深めた。

啄木学会関係者らによって実行委員会が組織され、2月21日には盛岡で開催されました。

「天」を見失った現代人に贈る遊座先生の渾身のメッセージを、ぜひ、ご聴講ください。

日時：4月26日(日) 14時～17時(受付開始13時30分から)
場所：ホテルグランドパレス3階「松の間」(〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1の1)
TEL: 03-3264-4111(代)

会費：8000円(資料として遊座先生の著書「北天の詩想」を含む)

申込方法：在京白聖会事務局に電話・FAX、メール(題字下参照)でお申し込み下さい。

申込み締め切り：4月10日(金) ※遊座昭吾先生が本校在籍当時の年次の出席については、基本的に年次代表に実行委員をお願いして出席のとりまとめをお願いします。直接事務局にお申し込みいただいてもかまいません。

在京白聖会・歌の祭り

平成21年8月5日(水)・洋風居酒屋ボナペティ
ピアノ伴奏で歌う「歌の祭り」

今年も白聖有志による「音楽の祭り」を開催します。ピアノの伴奏で歌う集いです。「音楽の祭り」は、今年からは参加年次をさらに広げ、在京白聖会のクラブ活動として定期的な活動を続けていきたいと思ひます。音楽に興味ある方はぜひご連絡下さい。

当祭りは、軽い昼食をとりながら近況などを懇談した後、ピアノの伴奏で合唱、独唱し、そしてカラオケ、アカペラも楽しめます。

前回は、校歌、啄木の歌などを全員で合唱、練習した後、31年、33年卒の方々がシニョール冬の旅、シャンソン、

カンツォーネ、オペラの Aria、日本の歌など20曲ほどを独唱で楽しめました。今年、さらに幅広い年次



昨年の開催風景(幹事：阿部克行、小笠原 征、多田研三、北川安男、早坂光平(以上31卒)、大川紀子(33卒))※詳細はお問い合わせ下さい。

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日の午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表 山田)までお気軽にご連絡ください。メール sakuraco@leaf.ocn.ne.jp 可。

車窓の白い景色に
ほつとる なつかしさ
古里が近づいて
何か 力が湧いて
来た
寒空にふくらむ
冬芽の
やけにまばゆくて……
たかが数日の
風邪のあと
ろろち(42年卒)

北国では
冬の木立を
満天の銀河が
きらきらと
飾る
初春に
父母弟の墓に詣で
墓碑銘をなぞる
一人生き長らえている事に
ただ頭を垂れる
颯斗(43年卒)

※08年11月から09年3月までの作品から抜粋。作者名はペンネームもあります。

編集後記

今回、初めてオールカラーの会報をお届けする。昨年末の「白聖芸術祭」の作品リストを作ろうということになり、「それならカラーで」ということになった。だが、芸術作品を素人が撮って印刷にかけるといのは「暴挙」である。「私の作品はこんな色ではない」とお叱りを受けそう。それでも、モノクロでは味わえない感動もある。そこは仲間の手作りと割り引いて、カラーを楽しんでいただきたい。(Y)

の白聖会員のご参加を期待し、ご連絡をお待ちしております。ピアノの伴奏で歌う方は、5月末までに楽譜をお送り下さい。ボランティアでピアノ伴奏として参加して下さる方も大歓迎です。

「歌の祭り」実施要項

日時：2009年8月5日(水) 12時～17時頃

場所：洋風居酒屋ボナペティ 品川区中延3-8-7

電話：03-3787-3634

会費：6000円程度

(ファンコールの方は5千円)

申込：5月末(参加申込の方へ詳細な案内を別途お送りします)

問い合わせ：連絡先

・早坂光平 TEL: 03-082-東京都板橋区高島平8-27-11207

TEL: 03-3393-2725